



みなと荘新聞

平成26年9月 第42号

今月の予定

《 9月16日～10月15日まで 》

9月	10月
20日・・手打ち蕎麦会	2日・・日帰りバス旅行
23日・・みなと荘運動会	9日・・みなと秋ランチ(さんま)

園芸



今月の園芸では、ちぎり絵作りに挑戦しました。白い枠組みの中に、一枚一枚小さな色紙を置いていくと、やがて色鮮やかな一つの絵が完成しました。コツコツと作り上げた作品を見て、皆さん、苦労したかいがあったと、とても喜んでいました。

デイケア

『通所リハビリテーション』



夏の暑さを少しでも涼しく感じられるように、ホール全体を使って、流しそうめんを行いました。気持ちよく、さらさらと流れてくるそうめん食欲もUPし、とても楽しく食事をすることができました。

行事の様子

<みなと荘 夏の味覚特集!!>



8月16日 みなと喫茶(かき氷)



8月12日 ゴーヤチャンプルー (みなと荘の自家製)



8月19日 流しそうめん

今月は食事の時間に一工夫があり、夏の美味しい風味が盛りだくさんでした。太陽が照りつける日に、シロップをかけた甘いかき氷の山をゆっくりと崩す楽しみ。竹筒の上から流れる冷たいそうめんをすくってゆったりとした時間を感じる日。また、みなと荘の玄関口で育てているゴーヤを使って、美味しいゴーヤチャンプルーも提供しました。思わず「おかわりはないの?」と何杯も食べたくなる雰囲気が広がっていました。

8月23日 ボランティア感謝祭

みなと荘には、園芸・朗読・マッサージ・傾聴など、様々なボランティアの方が来荘され、日々の生活をより楽しいものにしていただいています。

この日は、いつもお世話になっているボランティアの皆様方に感謝の気持ちを伝えました。みなと荘のご利用者様から感謝状を渡されると、明るい笑顔があふれ、元気な拍手が響き渡りました。皆さん、これからもよろしくお願いたします。



職員紹介

みなと荘 介護班長 桑川 昌子



ご利用者様とふれ、あの頃、あの言葉が思い出されます。

私の家は農家、学校から帰って出迎えてくれたのは、明治生まれの祖母でした。お腹をすかしている私に味噌おにぎりを作ってくれ、祖母とのやり取りの中で言い伝えなどを教えてくれました。あの頃は分からず聞くだけでした。

支え合う心を大切に、人生の先輩方から学び力になればと思っています。

日常風景



みなと荘では、定期的に華道の先生が来荘され、ご利用者様の楽しみの一つとなっています。数種類の花を、先生のアドバイスで水盤の上に乗せ、綺麗に飾り付けていきます。鉈を使い、ほどよい長さに整えたり、角度を変えて様々な角度で楽しめるようにしたりするなど難しくも奥深い技術も感じられます。

作業が終わった後は、生け花を居室に飾り、皆様方で楽しめるようにしています。

編集後記



猛暑日が続きクーラーなしでは寝苦しい日が続いていましたが、8月の末には急に涼しくなり、夜、窓を開けて眠ってしまうと明け方寒い思いをしてしまう程の気温になってしまいました。

暦を見ると今年の十五夜は9月8日です。あっという間に秋ですね。